

自ら学ぶ力を育てる授業の創造

I 教科主題 「自ら学ぶ力を育てる授業の創造」

次期学習指導要領改訂にむけて、従来までの「何を学ぶか」という視点に加えて、主体的、対話的（協働的）で深い学びの実現を目指して「どのように学ぶか」そして「何ができるようになるか」という視点が加わった。問題発見・解決を念頭に置き、対話（協働）を通じて自らの考えを広げて深め、見通しを持って粘り強く、自らの学習活動を振り返って次につなげる学習が求められている。

これを授業作りの視点として「主体的な学び」「対話的（協働的）な学び」「深い学び」という3つの学びの過程の在り方を考えていく。

課題解決的な学習では、個人やグループの課題を発見し、その課題の解決に向け、運動の行い方の工夫が求められる。グループでの相互観察や話し合いのほか、教師側の支援として教具の工夫をしながら授業を展開することが大切となる。

今研究大会では、学びの主体者である生徒の主体的・対話的（協働的）な学びが導き出せる場の設定、教具の提供をしかけ、生徒たちの自ら学ぶ力を育てるものになり得ているかを議論したい。